



## 多摩交流センターだより

インターネット  
放送による

# 多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催  
後援：武蔵野市教育委員会

2019年4月・5月開催予定の講座案内



### 182回 題名 山手線ものがたり

日時 2019(平成31)年4月11日(木) 14:30から約1時間

講師 川口 順啓 氏

(元JR東海専務取締役・元財団法人JR東海生涯学習財団常務理事)

内容 山手線は、東京の大動脈とも言える交通機関ですが、一朝一夕に出来上がったものではありません。明治18年に日本鉄道会社の品川線が開業し、同36年に豊島線が増設され、同39年に国有化されたのち、同42年に両線が統合されて「山手線」と命名されたのです。環状運転が可能になったのは、大正14年末のことでした。その発展の道筋を見ていきます。



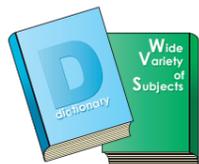
- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター
- ライブ中継・VOD視聴について  
多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先 TEL070-2685-3602(高原) TEL0422-52-0908(菅原)

日時 2019年5月9日(木) 14:30から約1時間

183回 題名 地域における防災活動の実践例

講師 小川 雄二郎 氏(前富士常葉大学(現常葉大学)教授・元アジア防災センター長)



特定非営利活動法人

## 東京雑学大学

2019年5月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は5月9日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1177回	5月2日(木・祝) 14:00から	ペリー提督献上の蒸気車と 新橋・横浜間の鉄道開設	日景 洋一 氏 (横浜黒船研究会会員・元横河電機勤務)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1178回 ※	5月9日(木) 14:30から	地域における防災活動の 実践例	小川 雄二郎 氏 (前富士常葉大学(現常葉大学)教授・ 元アジア防災センター長)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター (JR三鷹駅北口 徒歩7分)
第1179回	5月16日(木) 14:00から	小国アイルランドから見えるもの・ 文化・社会・人材研究	小館 香椎子 氏 (日本女子大学名誉教授・電気通信大学特任教授)	小金井市前原暫定集会施設 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井市役所向い)
第1180回	5月23日(木) 14:00から	世界遺産とその背景	武井 聖子 氏 (世界遺産検定認定インストラクター・ 世界の生活文化研究会主宰、オフィスアム代表)	小金井市前原暫定集会施設 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井市役所向い)
第1181回	5月30日(木) 14:00から	茨木のり子の詩	志賀 澤子 氏 (舞台女優)	小金井市民会館 萌え木ホール (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 前原暫定集会施設の隣)

☆申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。 ※第1178回は、第183回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

変更:本誌3月号(No.066)4ページで案内した「東京雑学大学」の教場を変更いたします。  
4月18日(木)教場 小金井市 前原暫定集会施設(変更前) → 田無公民館(変更後)  
(JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分小金井市役所向い) (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)

問合せ先 TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

## イベント紹介

### 奥多摩セラピーウォーク

日時 2019(平成31)年4月29日(月・祝)

受付時間 9:00~11:00(荒天の場合中止あり)

受付場所 奥多摩駅前

コース JR奥多摩駅~奥多摩むかしみち~奥多摩湖(10km 4時間)

内容 奥多摩むかしみちは、都内で初めて森林セラピー基地として認定された奥多摩町にある5つのセラピーロードのうちの1つで、今も随所に昔のままの姿が残されています。奥多摩駅をスタートし、昔をしのびながら、ゴールである奥多摩湖をめざして新緑あふれる奥多摩の自然を満喫できるコースです。参加者にはコース途中で奥多摩名人・達人ガイドたちによる名所案内、ゴールとなる奥多摩湖では物産展とクラフトフェアも開催され、あわせて楽しんでいただけます。

参加費 500円(受付時に支払い、保険料含む)

主催 奥多摩セラピーウォーク実行委員会

問合せ先 奥多摩セラピーウォーク実行委員会事務局(奥多摩町役場観光産業課内)

TEL 0428-83-2295 FAX 0428-83-2344

ホームページアドレス <http://www.town.okutama.tokyo.jp>



### 「多摩交流センターだより」の問合せ先

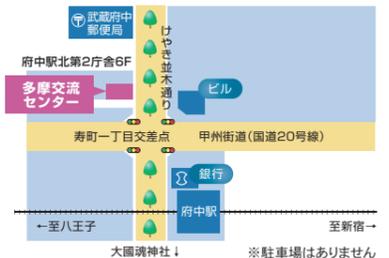
#### (公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



### 編集後記

○ 30年以上続いた平成の時代も今月末で終わることとなり、新しい時代の到来が近づいています。

9月のラグビーワールドカップ、来年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、2025年の大阪・関西万博など、多くの人々で賑わうイベントが予定されています。また、国際会議場・大型ホテル・カジノ施設等から成る統合型リゾート(IR)の開設による観光や地域経済の活性化が期待されています。

しかしながら、こうした明るい話題の一方で、これからは、各自治体を取り巻く環境や地域に暮らす人々の生活に大きな変化が起きることが予想されます。

○ 人口減少・高齢化が進展する中で、労働力の不足や経済成長の減速が懸念され、これに公共施設の老朽化等も加わり、今後、各自治体が健全な行財政運営を維持していくためには、難しい舵取りが求められます。

また、滞在・在住する外国人の増加、価値観・ライフスタイルの多様化等により新たな行政サービスの展開も必要になってきます。情報通信機器の発達や技術革新等によりカバーされる部分もありますが、行政サービスや地域の活動をこれまでどおりの規模・内容

で維持していくことは難しくなっていくと思われます。さらに、地球温暖化による気候変動や異常気象が人々の暮らしに大きな影響を与えており、各自治体にはこれまで以上の対応も求められてきます。

こうした課題を基礎自治体単独で解決することは困難になってきており、今後は自治体間の連携や、自治体・地域の人々・企業等が協働・連携して対策に取り組んでいくことがますます大切になっていくと思われます。

○ 当調査会は、これまでも時代に先駆けて、「自治体の空き家対策に関する調査研究」、「基礎自治体における多文化共生施策に関する調査研究」、「基礎自治体におけるAI・RPA活用に関する調査研究」、3ページに記載のオール東京62市町村共同事業として「気候変動への適応策に関する調査研究」など様々な分野で調査研究や関連する事業を行ってきました。

当調査会は、引き続き広い視野に立ち、多摩・島しょ地域における持続可能な自治体運営や地域社会のあり方を目指し、職員一丸となって事業に取り組んでまいります。(S.K)